

公表 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こども発達サポート つむぎ			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日	～	令和 6 年 11 月 30 日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	3
○従事者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日	～	令和 6 年 12 月 10 日	
○従事者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 24 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	出来る限りご家庭の事情、レスパイトケアに寄り添いながら利用日の調整を行っている。	保護者様も安定して日常生活が送れることでご利用者様も安心して過ごせるように配慮している。	引き続き一人ひとりに寄り添いながら支援していく。
2	職員配置について、職員数は手厚い配置が実現出来ており、支援や見守りが充実できている。	話し合い等で、利用者それぞれ個別に必要な支援、支援内容について共有し、支援を行っている。	ミーティングや会議等で活発な意見交換を行いながら、職員についてもスキルアップを目指し研修受講の機会を設ける。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の方との面談、相談に応じ、必要な助言等を行っているが、家族保護者向けの研修等については実施していない。	開催日時や研修内容など、保護者の都合やニーズを考えると、難しいということも要因として挙げられる。	今後、研修機会を設けるかについて、保護者のニーズを把握し、検討する。
2	地域とのつながりが弱く、保護者とのイベントを行っていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもの保護者のそのようなニーズが少ない様子。 ・イベントに人員を割くことに対しての質の低下の懸念。 	既存の地域イベントなどの情報を収集し、積極的な参加を行い、協力できるような意識を持っていく。
3			